

## 新約聖書の中の奥義⑪

聖書フォーラム 福岡集会  
2021年5月15日

出典：MBS182 "The Eight Mysteries of The New Testament"  
Arnold G. Fruchtenbaum TH.M.,PH.D.

この学び全体は、5つの部で構成

1. イントロダクション
2. 奥義としての神の国
3. **教会に関する5つの奥義**
4. イスラエルがかたくなになることに関する奥義
5. サタンとの2つの奥義と  
それを打ち破る神の8番目の奥義

### 教会に関する5つの奥義 P.1

- A) 七つの星と七つの金の燭台の奥義
- B) からだの奥義
- C) 内住のメシアの奥義
- D) **メシアの花嫁としての教会についての奥義**
- E) **信者の変換の奥義**

### D) メシアの花嫁としての教会

エペソ5：22～33 のアウトライン

1. 妻たちに対する勧め：服従の原則
2. 夫たちに対する勧め：愛の原則
3. メシアが教会のためにしてくださること
4. 再び夫たちへの勧めと奥義
5. 結論

### 1) 妻たちに対する勧め P.1

エペソ5：22～24 服従の原則

- 22節 主に従うように、自分の夫に従いなさい
- 23～24節  
メシアは教会のかしら＝夫は妻のかしら  
メシアは教会の救い主∞夫は妻を守る  
教会はメシアに従う＝妻は夫に従う

### 2-1) 夫たちに対する勧め P.2

エペソ5：25～27 愛の原則

- 25節 妻を愛しなさい  
メシアは教会を愛する＝夫は妻を愛する  
メシアは教会のために自分を捧げた  
∞夫は妻を守るために自分の身を捧げる

## 2-2) 夫たちに対する勧め P.2

先ず《夫が妻を**愛する**》そして《妻が夫に**従う**》

この順序は、神の愛を見るとき、わかる

- I ヨハネ4：10
- I ヨハネ4：19
- ロマ5：8
- ロマ5：10

## 3-1) メシアがしてくださること P.2

エペソ5：26～27

- 現在・・・**教会をきよめて聖なるものとする**  
**水の洗いをもって**=みことばにより
- 将来・・・**栄光の教会をご自分の前に立たせる**  
**ご自分で、しみや、しわや、そのような**  
**ものが何一つない、聖なるもの、傷のない**

## 3-2) 婚約 P.3

II コリ11：2

- 将来、教会は**清純な処女として、一人の夫キリストに捧げられる**
- そのために、現在、**水の洗いをもって**=みことばにより、教会をきよめて聖なるものとする
- **婚約**・・・教会の現在の地位は、花嫁

## 3-3) 花嫁から妻へと至る経緯 P.3

- ① 黙示録19：6～8
  - ② 婚礼のときの花嫁衣裳は、輝くきよい亜麻布
  - ③ キリストの裁きの座
- 教会の**携挙**、その後、地上は大患難期に入る
  - 天で**キリストの裁きの座**→天で**婚礼**→地上再臨
  - 地上で**婚宴** → **メシアの王国**

## 4-1) 再び夫たちへの勧め P.4

エペソ5：28～30

- 夫は妻を自分のからだのように愛さなければならない
- 夫は自分のからだの一部である妻を養育する
- メシアは教会を愛し、養育する。信者はメシアのからだの部分だからである

## 4-2) 愛と成長 P.4

- ① メシアはそのからだである教会を愛した。同じように夫は、自分のからだの一部である妻を愛さなければならない
- ② 夫は、妻を成長させて完成させる責任がある。妻にやさしくし、愛し、いつくしみ、世話をする
- ③ このような夫の責任を考えるときに比較するのが、メシアと教会の関係
- ④ 夫婦ともに信者であるなら、なおさら

## 4-3) ふたりは一体となる P.4

エペソ5:31

- ① 創世記2:24の引用
- ② それゆえ・・・28～30節で述べてきたことを受けて夫にとって、妻を愛して養い育てることは、自分のからだを愛することと同じ  
これが、「ふたりは一体となる」という意味となる

## 4-4) 奥義の宣言 P.4～5

エペソ5:32

- ① この奥義は偉大です
- ② 私は、キリストと教会を指して言っている
  - 教会はメシアの花嫁である、これが奥義である
  - 旧約聖書では、イスラエル民族は「ヤウエの妻」。これは奥義ではない
  - メシアを信じる信者たちが「メシアの妻」となること、そして、妻となるまでの間は「メシアの花嫁」と呼ばれるということ、それは新約聖書において初めて明らかにされたこと

## 4-5) 結論 夫と妻への勧め P.5

エペソ5:33

それはそれとして、あなたがたもそれぞれ  
【夫は】自分の妻を自分と同じように愛しなさい  
妻もまた自分の夫を敬いなさい

## E) 信者の変換の奥義

I コリ15:50～58 のアウトライン

1. イントロダクション
2. 奥義の宣言
3. 奥義の内容
4. 死に対する最終的な勝利

## 1) イントロダクション P.5

I コリ15:50

兄弟たち、私はこのことを言っておきます  
血肉のからだは神の国を相続できません  
朽ちるものは、朽ちないものを相続できません

## 2) 奥義の宣言 P.5

I コリ15:51a

聞きなさい  
私はあなたがたに奥義を告げましょう  
• メシアの再臨や死者の復活は奥義ではない  
• では、何が奥義なのか？

## 3-1) 奥義の内容

P.5

I コリ15:51b

私たちはみな眠るわけではありませんが  
みな変えられます

- 信者たちが皆、眠る (=死ぬ) わけではない
- しかし、眠った者も生きている者も皆、変えられる

## 3-2) 終わりのラッパとともに

P.5

I コリ15:52

- ① たちまち、一瞬のうちに・・・変換は瞬間的に起きる
- ② そのタイミングは、「終わりのラッパ」のとき
- ③ イスラエルの祭り(春4+秋3=7つ)
  - ラッパの祭り・・・? → I コリにより携挙を予表
  - 贖いの日・・・大患難期を予表
  - 仮庵の祭り・・・メシアの王国を予表

## 3-2) 終わりのラッパとともに

P.6

- ④ 携挙のときに死んでいた信者も生きている信者も共に、朽ちない体になる。51節b「みな変えられます」  
広義の変換(新しい別の体ではなく、変えられた体)  
ルカ21:18 「髪の毛一本も失われることはない」
- ⑤ 52節では、死んでいた信者と生きている信者との表現を分けている
  - 「死者は朽ちないものによみがえり」・・・復活
  - 「(生きている) 私たちは変えられる」・・・狭義の変換

## 3-3) 死を経ない変換の結果

P.6

I コリ15:53

- この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着る  
この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになる
- ① これは、狭義の変換、死を経ない変換
  - ② 携挙のとき生きている信者は、肉体の死を経ないで、永遠のからだに変えられる。これは奥義である
  - ③ 旧約聖書での変換の事例(エノクとエリヤ)

## 4) 死に対する最終的な勝利

P.6

I コリ15:54~58

そして、この朽ちるべきものが、朽ちないものを着て、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。

「死は勝利に呑み込まれた」